

だいたいな

「わたし」のために

できること

— 乳がん・子宮がん検診のすすめ —

「がん」は誰でもかかる可能性のある病気で、日本人の2人に1人はがんにかかるといわれています。自分自身、そして身近な人がかかる可能性の高い病気だからこそ、知っておいてほしい「がん」のこと。がんの中でも女性に多い「乳がん」と「子宮がん」は、初期には無症状のまま進行していく可能性のあるがんです。近年罹患者の若年化が進んでいます。今月は、乳がんと子宮がんの早期発見・治療につながる、検診の大切さについて考えてみましょう。

## ● ● ● がんとともに、バンザイしてゴールテープを ● ● ●

今から9年程前、乳がんに罹患していることが分かり、今もなお治療を続けている村田里依さん。仕事や育児に追われ、検診は受けていませんでした。これまでの体調や心境の変化、がんとの向き合い方、そして乳がんになったからこそ伝えたい、検診の大切さについて伺いました。

### きっかけは、ふとした違和感

2013年12月、ふと自分の胸のサイズに左右で差があることに気が付きました。左胸が少ししぼんでいるように見えて、生理前になると、ホルモンバランスの影響で胸が張ることが多く、その影響かな？それとも乳腺炎かな？と思っていました。痛みはありませんでしたが、夫に相談して病院で診察を受けることに決めました。

最初にかかった外科で「確実に腫瘍がある」と言われ、すぐに乳腺腫瘍科で生検※1を受けました。1週間後に聞いた結果は乳がん。腫瘍は直径8cmにも及び、ステージ3※2と言われました。自分の胸に違和感を抱いてから乳がんだと診断されるまで、わずか2週間程。「何でもないという結果を聞いて早く安心したい」と思っていました。叶いませんでした。

### まさか自分が…

診断結果を聞いた直後の記憶がない

※1 生検…病変の一部を採り、顕微鏡で詳しく調べる検査

※2 ステージ…病期ともいう。がんの大きさや周囲への広がり方で、がんの進行の程度を判定するための基準。ステージは5段階あり、がんの進行度に応じて0～4で分類される

むらた りえ  
村田里依さん

2013年に乳がんが診断され、抗がん剤治療を経て左胸を全摘出。放射線治療や内分泌治療を行っていたが2019年に再発。自分の好きなこと、やりたいことを見つめ直し、2021年5月に「株式会社Tao Corporation」を設立。抗がん剤治療中の働く女性向けに開発・商品化したケア用の帽子「Tao Caps」を販売している。2017年に入社した狭山ケーブルテレビ株式会社で、現在人事総務部長を務めている。



大好きな子どもたち。乳がん発覚後も、家族でいろんなところへ出掛けました



んです。きつと治療法などを説明してくれていたと思うのですが、「まさか自分が」「これからどうしよう」という思いでいっぱいになり、涙も出ず、ただただ呆然としていました。家に帰ってからやっと「自分はがんだったんだ」と理解し始め、そこから一生分の涙を流したのではないかと思うほど泣きました。そんな中で一番に考えたのは、当時9歳の娘と2歳の息子のこと。子どもたちを置いて死ぬわけにはいかないと思いました。

治療には家族の協力がが必要です。子どもたちがクリスマスプレゼントを楽しみにしているこの時季に伝えるべきか悩みましたが、夫に相談したら「家族で乗り越えよう」と言ってくれて。この言葉がきっかけとなり、娘に正直に伝える決心ができました。

**家族のためにも、がんには負けない**

「ママはこれから生きるための治療をするんだ。寂しい思いをすることもあるかもしれないけれど、これは家族の問題だからみんなで乗り越えようね」と、夫から娘へ伝えました。娘が話を聞きながらボロボロと涙を流す姿を見て、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。でも娘は「私にできることは何でもやる。ママ頑張ってるね」と言ってくれたんです。強い子だなあと思いました。正直に伝えたときの娘の反応や言葉に、「どんなに辛い治療が必要だとしても、絶対にがんから逃げないで立ち

向かっていく！」という決意が固まりました。

**抗がん剤治療の始まり**

治療の始まりは2014年の1月。まずは腫瘍を小さくするために抗がん剤治療を行いました。私の場合、投与は3週間に1回のペースで、計8回。投与中は「本当にこれが効いているのだろうか」と思いながら、体内に入っていく毒々しい真っ赤な抗がん剤を見つけていました。見た目どおり、強力な薬でした。待っていたのは副作用の吐き気



や脱毛と闘う日々。吐き気止めを飲んでいても、24時間酔いしているような感じがするんです。この薬の投与はトラウマになっていて、今でもトマトジュースや赤ワインを見ると思い出して気分が悪くなることもあります。それくらい辛い治療でした。

**職場の理解のおかげで病気を忘れられた**

治療が始まると仕事を休むことが増えるため、職場にも話をしました。チームのみんなに「一人で抱えなくていいよ」と言ってもらえてありがたかったです。もしこの時、治療だけに向き合っていたら、どうしても悪い方向に考えてしまっていたと思います。仕事に没頭し

ている間は病気のことを忘れられたんです。これが治療にも良い影響を与えていたのではないかなと。また、同僚はランチにも誘ってくれました。抗がん剤治療によって免疫力が低下していたため、刺身や生野菜などは食べることができなかったのですが、その日の私の気分を聞いて、行けるお店を探してくれました。気晴らしになりましたし、心の面で助けてもらいました。

**治療と仕事を「自分の力で」両立するために**

私が抗がん剤治療をしている間に、父の体にもがんが見つかったんです。それがきっかけで、働き方を考えるようになりました。残業になると両親に子どもの世話をお願いすることも多く、自分が治療と仕事を両立できていたのは両親の支えが大きかったからだということに、このとき気が付いたんです。ね。「できる限り自分の力で両立しよう」と思い立ち、2017年5月に都内の企業から、居住している狭山市内にある企業へ転職をしました。通勤にかかる時間が短くなり、少しずつ家族と過ごす時間も増えました。

現在勤めている会社では人事総務部に所属し、働き方改革に取り組んでいます。前職でがんを発症し、通院しながら働くことになったときに初めて会社の就業規則を読み、治療と仕事を両立することの難しさを知りました。現在の会社では、就業規則の周知や見



社内ミーティングでは、定期的に社員の意見を聞く場を設けています

直しをする担当なので、入社当初から「自身の経験を基に、病気になっても働き続けられる会社をつくりたい」という思いでチャレンジを続けています。

**「やっと乗り越えられた」はずが**

約半年の抗がん剤治療を経て、左胸を全摘出、リンパ節を一部摘出ししました。その後は放射線治療に励み、この頃には「やっと乗り越えられたかもしれない」と思っていました。がんがしばらく発症していない状態が続くと寛解といわれます。その時が来るのを願っていました。ところが、今から3年前の2019年8月、右脇と心臓のリンパ節に転移が見つかりました。ステージは4。一度目の検査のときに、全身にがん細胞が分布している可能性は否めないと言われて

いたので、再発のショックはそこまで大きくなかったです。ただ、寛解を目指していた途中だったので、今後生きていくためには一生薬を飲み続ける必要があるという事実には落ち込みました。

**バンザイしてゴールテープを切りたい**

再発が分かり、再度始まった抗がん剤治療。この時期に出会った緩和ケア外来の主治医の一言が私の人生を変えました。「治療とお仕事を両立していきましょう。ずっと続けていいですよ、私がずっと伴走しますから。村田さんがバンザイしてゴールテープを切るまで伴走します」。この言葉のゴールテープは死。死ぬまで私に伴走すると言ってくれました。心の底から嬉しかったです。誰しも死に對する恐怖心はありますよね。そのことを先生は誰よりもご存知だからこそ、あえて幸せなゴールをイメージするような表現で励ましてくださったんです。死を極端に恐れ、おびえながら生きるのではなく、めいばいやりたいたいことをやって、その末に死があるならば、それはバンザイをしてゴールテープを切るようなものなのかなと。自分のやりたいことを一生懸命やれることが一番幸せなことなのかもしれないと素直に思えました。

**思い出した、ずっとやりたかったこと**

今までやりたいのに諦めてきたことってなんだったかな、と考えたときに浮かんだのがケア帽子の開発でした。脱毛に悩みながら仕事をしていた際に、

「もつと頭部をカバーできる方法はないかな、もつと快適に過ごせるような帽子があればいいのに」と考えていたことを思い出し、思い切って起業に向けて動き出しました。「伴走するから、毎日を楽しそうに思い切り過ごせたらいいじゃない」という先生の言葉が支えになって、迷いはありませんでした。

**がん患者の「伴走ツール」になれば**

治療と就労の両立の難しさは、身をもって実感しています。経験者だからこそ、この両立を実現する力になれるように、私がこれまでやってきたことをがん罹患者の皆さんに広く知ってもらえたら。このケア帽子が、治療と就労の両立を目指す皆さんにとって、私が先生にかけてもらった言葉のように伴走できるツールになっていたら良いなあって思っています。

**今なお続く闘病生活と、これから**

闘病中に支えになっているのは、家族からの「元気でいてほしい」という思いや、周りの方への感謝の気持ちです。一人で抱え込みすぎないように、意識的に周りに頼っています。周りの方々がいたから、私はいろんなことに挑戦できるのだと思います。

がん発覚当時には泣いていた娘も、今では治療と就労の両立を支援する私に「ママは私の誇りだからね」と言ってくれています。がんになって、いろんな出来事がありました。辛いこともありまし



当時はウィッグや帽子を被っていました



がん宣告から1年後の家族写真



## 株式会社Tao Corporation

2021年5月設立。取り扱っているのは、「Tao Caps」。目指したのは、仕事中でも違和感なく被ることができるスーツに似合うケア帽子。抗がん剤治療などで髪を失った方が被る帽子で、がん治療と仕事を両立し、キャリアを諦めない自分らしい働き方ができるように支援するもの。2021年12月には、女性起業家の成長を支援し、国内外で活躍するロールモデルともいべき女性起業家を輩出することを目的としたビジネスプランコンテスト「SAITAMA Smile Womenピッチ2021」で優秀賞を受賞。



オンラインセミナーの様子



ケア帽子「Tao Caps」

### がん対策講演会

- 内容** ①乳がん体験者講演会「がんと共に生きるということ」  
講師 村田里依 氏  
②講座「ブレスト・アウェアネス(乳房を意識する生活習慣)をはじめましょう」  
講師 杉本敬子 氏(乳がん体験者コーディネーター・看護師)
- 日程** 9月28日(水)、10時30分～12時30分
- 場所** 市民交流センター
- 定員** 80名
- 申込み** 専用サイトか電話で保健センターへ ☎2959-5811



### 働く方のがんワンストップ電話相談

- 仕事と治療を両立するがん患者の方を支援するための、専門職による電話相談です。
- 対象** 県内在住・在勤で就労中か休職中のがん患者の方
- 日時** 8月25日(木)、9月6日(火)・29日(木)、10月11日(火)・27日(木)
- 相談員** 看護師、医療ソーシャルワーカー、両立支援促進員など
- 申込み** 県疾病対策課へ ☎048-830-3651



### がん相談支援センター

- がんの療養生活や仕事の不安など、気軽に相談できる場を県の指定病院内に設けています。
- 相談員** 看護師、医療ソーシャルワーカーなど



たが、素敵な出会いもありました。これまでの経験は、全て今の私につながっています。命がある限り、この支援活動を続けていきたいですね。

### がん検診を受けてこなかった自分

実は、乳がん検診を一度も受けたことがありませんでした。痛いと感じていたので、お金と時間を使ってまでそんな思いをする必要はないかなと思っていて。会社の健康診断では異常がなかったし、子育てや仕事が忙しくて自分のことは後回しにしていたんです。発見当時に、「どうしてこんなのがんが大きくなるまで放っておいたの」と医師に言われたのですが、放っておいたのではなく、気

付かなかったんです。ホルモンバランスの影響かな?と思いついで受診しようという考えには至りませんでした。よく聞くセリフですが、「自分は大丈夫だろう」と思っていました。普段から自分の体のことを気にかけていたら、もっと早く気付くことができていたのかもしれないのと思っています。

### 夫からもらった勇氣

病院に行くのも、娘に話をするのも、私にとって勇氣のいることでしたが、私の場合は夫が背中を押してくれたおかげで一歩を踏み出すことができました。私のこの体験談が、大切な人の背中を押したり、検診を受けたりするきっかけに

なったら嬉しいです。

### 検診は自分への「褒美」

仕事や子育て、介護など、時間が足りないと思うこともあるけれど、全ては自分が健康であることが基本。一日でも数時間でもいいから、ご褒美の時間だと思って自分へ検診の時間をあげてください。それは無駄な時間ではないんです。異常がなければ安心を得られるし、仮にがんが見つかったとしても、早期であれば治る確率も上がる可能性があります。次の一歩を踏み出す力があれば、がんとともに生きていくこともできます。これからも私だから伝えられることを伝えていきたいと思っています。

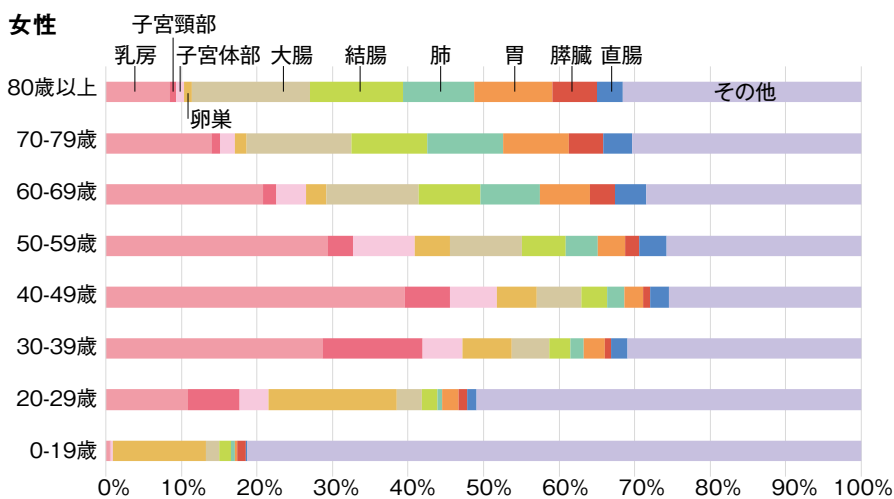
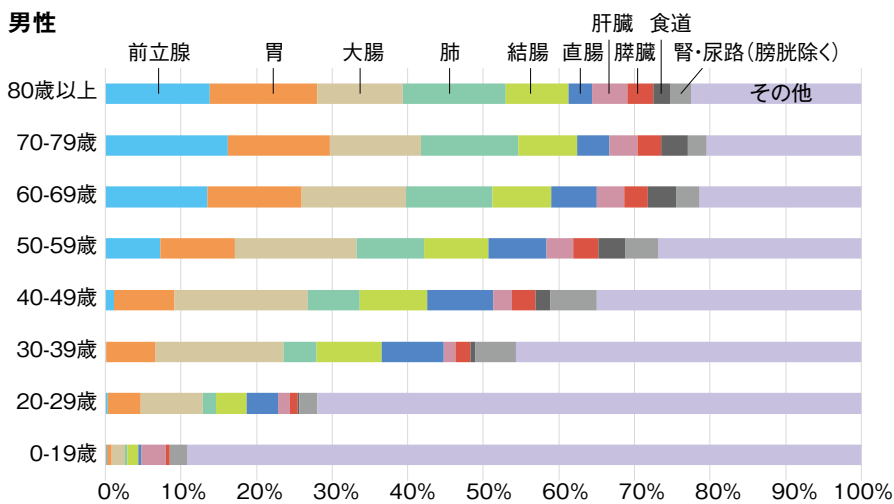
# 「がん」を早く見つけるために

国立がん研究センターの2018年のデータによると、日本人が一生のうちのがんと診断される確率は、男性が65.0%、女性が50.2%。男女ともに2人に1人ががんに罹患しています。そのうち、がんで亡くなる方は男性がおよそ4人に1人、女性がおよそ6人に1人と推定されます。現在、がんは誰でもかかる可能性がある病気ですが、早期発見から治療へつなげることで治る病気にもなっています。



狭山市保健センター  
木村なつめ保健指導担当課長

年代別・がん部位別罹患率(2018年)



出典:国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録)

## 女性のがんの中で 最も多いのが「乳がん」

がん罹患の部位内訳を年齢階級別に見ると、男性では40歳以上で胃や大腸、肝臓などの消化器系のがんが50~60%を占めています。女性では40代で乳がんが約40%、子宮がんや卵巣がんが約20%となっています。

特に、乳がんや子宮体がんの罹患者は30代後半から増え始め、年齢が上がるにつれて発症リスクが高まるといわれています。また、子宮頸がんは20代後半~30代で発症のピークを迎えます。どのがんも、発見が遅れることで進行し、生存率が下がっていくため、早い時期にがんを発見することが重要です。

しかし、乳がんや子宮がんの発症リスクの高まる時期、つまり検診を受けてほしい時期には、仕事や子育てなどが忙しく、なかなか自分の検診のために時間を取ることは難しいでしょう。2021年度の市の検診の受診率は、乳がんが17.9%、子宮がんは15.5%と、決して高くありません。

## 検診を受けるメリット

検診は任意のため、検診を受けるかどうかは本人や家族と相談の上、決めていただくことになります。がん検診に関して心配なことがあれば、事前に保健センターや医療機関へご相談ください。

### メリット

- 早期にがんを発見でき、早期治療につながります
- 前がん病変(がんになる手前の状態)で発見することで、がんの発症を防ぐことができます
- 現状を把握することで、安心して過ごすことができます

### ただし・・・こんな場合もあります

- 検査や精密検査で体調不良になったり、体に負担がかかったりすることがあります(個人差があります)
- 結果が出るまで気持ちが不安定になることがあります(個人差があります)
- 検診の結果が100%正しいとは限りません

## 狭山市の乳がん・子宮がん 検診の結果から

2020年度に市の乳がん検診を受診した人は3,160人。そのうち148人が精密検査の対象となり、検査の結果16人が乳がんと診断されました。また、子宮がん検診を受診した人は3,559人で、そのうち36人が精密検査の対象となり、検査の結果2人が子宮がんと診断されています。

何のために検診を受けているか…、それはがんを早期に発見するためです。自覚症状がない段階では、検診を受けなければがんであるかどうかは分かりません。検診を受けて仮に精密検査の対象となったとしても、それががんであるとは言い切れません。精密検査は「がんかもしれない」疑いがあるときに必要となり、その結果「がんではない」と言われると安心できますし、もし「がんである」としても早期の発見から治療へ動き出すことができます。そのために、要精密検査となった場合には早めに精密検査を受けてください。

## 乳がんは早期発見・治療をすれば、9割以上の方が治ります

乳がんは、無症状のうちに検診を受診すれば、早期発見につながり、適切な治療によって治癒の確率が上がります。今は早期に発見して治療を行えば、9割以上の方が治るといわれています。市町村が行っている乳がん検診を申し込み、ぜひ定期的にマンモグラフィ検査を受けて下さい。採血や胸部レントゲンだけでは「がん」を見つけることはできません。

早期に発見することのメリットは、治癒率だけでなく、治療や費用などのご自身にかかる負担が少なく済むことも挙げられます。早期であれば乳房を温存できる可能性も上がり、生活の質(QOL)の向上にもつながります。万が一、がんが見つかったとしても、医師や周りの方と一緒に向き合い方や乗り越え方を考えていきましょう。

定期的に検診を受け、異常がなければ安心して日々を過ごすことができますよね。検診を習慣として取り入れ、ご自身の健康に関心を持つことが大切です。



埼玉石心会病院 副院長  
乳腺・内分泌外科部長  
児玉 ひとみ 医師

# 狭山市保健センターで 乳がん検診を受けよう!!

私が紹介します



保健師 坂本 佳瑠子さん

乳がん検診は、保健センターか市内指定医療機関で受けることができます。  
今回は、保健センターで受ける際の一連の流れをお伝えします。

申し込み

保健センターに電話で予約をします。検診を受ける月の前月末に、受診券が自宅に届きます。



受け付け



受診券を持って保健センターへ！ここで費用を支払い、持ち物の確認をします。

受診券を  
忘れずに



問診



記入いただいた検診票の内容を、看護師が確認します。

自宅で検診票を  
記入して  
スムーズ！



講座

乳がん検診結果の通知方法や、セルフチェックの方法などを説明します。



保健師 田附 奈千さん  
この後に行う検査のことなど、不安なことがあれば何でも聞いてくださいね。不安を解消できるよう、私たちが説明します。



マンモグラフィ  
検査



市の検診では、全ての検診機関で女性のレントゲン技師が撮影を担当しています。

安心して  
受けられます



医師による  
読影\*

微小な変化も見逃さないよう、専門医が2名体制で読影をしています。

\* 検査画像を観察した上で診断すること

郵送で  
検査結果を  
受領

要精密検査となった方には、検査画像のデータをお渡しします。精密検査を必ず受けましょう。



検診情報は13ページ



診療放射線技師  
比留間 陽子 技師

マンモグラフィは痛いというイメージが強く、検診へ行くのをためらう方も多いと思いますが、思い切って検査を受けたことで病変が見つかった方もいます。初期の乳がんは無症状であることも多いですが、早期に発見するにはこの時期の検診で気付くことが大切です。病気の進行を防ぐためにも、ぜひ勇気を出して検診を受けてくださいね。

### Q. 検診方法は？

A. 市の乳がん検診では、マンモグラフィ検査を行っています。マンモグラフィでは2枚の板状の器具で乳房を圧迫し、乳房全体を平たくしてX線で撮影します。撮影した画像から乳腺や石灰化の状態を確認し、がんなどの病変の有無を判断します。

### Q. 痛みを感じることはありますか？

A. 器具を使って乳房を圧迫するため、人によってはある程度の痛みを伴います。乳腺の量や乳房の大きさ・張りの状態によって個人差はありますが、痛みが我慢できないときには遠慮なく技師にお声掛けください。検査中に体の力を抜くことや、生理開始から約1週間後などの胸の張りが少ない時期に検診を受けることで、痛みを軽減できますよ。

### Q. 検査時に気を付けることはある？

A. 乳房付近に制汗剤やボディパウダーなどを塗っていると、検査画像に異物として白く写ってしまうことがあります。病変と見分けがつきづらくなるため、検診当日は使用を控えてください。

## 市内大学の取り組み

西武文理大学 看護学部看護学科  
成人看護学専任講師 がん看護専門看護師  
乳がん看護認定看護師  
小野 智恵美先生



西武文理大学では、高校・大学連携事業のひとつとして「がん教育セミナー」を開催するなど、学生・生徒の皆さんが、がんに関する学びを深められるように取り組んでいます。講義では、若い方にもがんに対する関心を持ってもらえるよう、検診を受けることの大切さやセルフチェックの方法などを伝えています。

2019年の大学オープンキャンパスでは、大学生たちが乳がんについて学んだことを来校された皆さんにも知ってもらおうと、がんの予防とともに、ウィッグの試着や闘病中のアピランス（見た目）のケア方法など、乳がん罹患者の方のサポートとなるような取り組みを行いました。2022年度の学園祭\*でも、継続的な啓発活動の一環として、ブース開設を計画しています。また、大学のある柏原地区の皆さんと協働し、がん看護専門看護師として健康に関する講演を実施したこともあります。この中でも乳がんを取り上げ、多くの方に興味を持っていただきました。

検診は多くの人を救います。乳がん検診を受けることで、しこりになる前の初期段階のがんを発見できる可能性が高まります。まずは、勇気を出して検診に行きましょう。そして、次の検診までの間には、継続的にセルフチェックを行いましょう。自分の体を知る習慣が、いつもと違う気付きにつながります。自分の健康を自分で守り、豊かな人生を楽しみましょう。

\* 新型コロナウイルス感染症の状況により、中止の可能性があります

## 乳がん 「セルフチェック」を しましょう

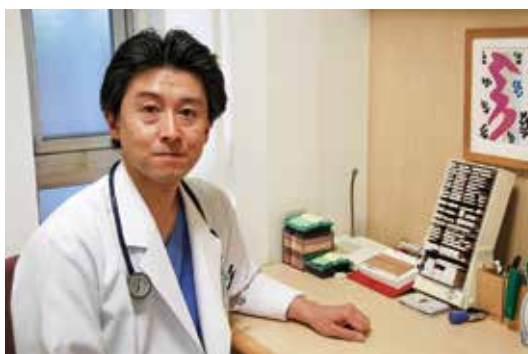
正しいセルフチェック方法を学び、習慣にしましょう。異常に気が付いたら、病院を受診しましょう。

ピンクリボン  
フェスティバル  
公式サイト▶





# 子宮がん検診を受けよう!!



奥平産婦人科 院長  
弘末卓也医師

子宮がんは早期発見が可能です。そのためには定期的な検診が重要です。また、将来妊娠・出産を考えている方は、超音波検査で子宮・卵巣に異常がないか確認しておくことをおすすめします。最近ではお母さんや娘さん、お友達と一緒に検診を受ける方が増えています。ほんの少しの勇気が、自分だけでなく大切な人を守っていただければと思います。

## Q. 検診を受けるメリットって？

A. 子宮頸がん<sup>けい</sup>と子宮体がんは、決まった部位で発生します。その部位を狙って検査を行うため、がんの発見率が高いことが特徴です。転移などのない段階で手術を行えば、再発することはほぼありません。特に若い世代で発症しやすい子宮頸がんの場合、ごく初期に発見できれば子宮を温存できる可能性があります。

## Q. 検査は痛い？

A. 個人差はありますが、力を抜いてリラックスすることで、不要な痛みを和らげることができます。不安や心配なことがある場合は、検査前に受付やスタッフへ伝えてください。

## Q. 検査時に気を付けることはある？

A. 出血や炎症は、検査結果に影響を与える可能性があります。検査は出血のないときに行い、おりものが多い場合は検査前に適切な治療を受けましょう。

## 子宮頸がんの予防にはHPVワクチンの接種が有効です

HPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチンは、子宮頸がんの主な原因であるHPV16型と18型のタイプの感染を防ぐことができます。また、子宮頸がんの前がん病変を予防する効果が示されています。



詳細はこちら▲

## Q. HPVワクチンの接種対象者は？

A. 小学6年生～高校1年生に相当する年齢の女子が対象です。接種機会を逃した方(平成9年度～17年度生まれの方)も、令和4～6年度に限り、未接種分が定期接種の対象に含まれます。

## Q. 接種費用はいくらかかるの？

A. 上記の対象者は無料です。それ以外の方は実費となりますが、接種することができます。

## Q. HPVワクチンを接種すれば、子宮頸がん検診は受けなくてもいいの？

A. HPVワクチンは、子宮頸がんの主な原因であるHPVへの感染を防ぎますが、がんの原因となるHPVの全てに効果があるわけではありません。20歳以降は、定期的に子宮頸がん検診を受けることをおすすめします。

## 検診の流れ

保健センターへ  
申し込み

市から  
受診券を  
受領

市内指定  
医療機関を  
予約

子宮がん検診  
(がんの好発部位  
の細胞を採取)

専門医が顕微鏡で細胞の悪性度を判断

検査結果を受領

検診情報は13ページ

# 乳がん・子宮がん検診情報

市では、乳がん・子宮がん検診を2年に1度受けることができます。検診を受ける際には受診券の申し込みが必要\*です。



詳細はこちら▲

\* 次のいずれかに該当する方は、受診券が届いています(手続きは不要)

- ▶ 過去3年以内に検診を受けたことがある(昨年度、市の検診を受けた方を除く)
- ▶ 今年度40・45・51歳を迎える(昨年度、市の検診を受けた方を除く)
- ▶ 無料クーポン送付の対象者である(乳がん検診は今年度41歳、子宮がん検診は今年度21歳を迎える方)

	乳がん検診	子宮がん検診
対象	40歳以上の女性で、前年度に市の乳がん検診を受けていない方	20歳以上の女性で、前年度に市の子宮がん検診、妊婦健診の子宮がん検診を受けていない方 ※子宮体がん検診は50歳以上
費用	1,000円	頸部のみ：1,000円 頸部と体部：1,400円
場所	・保健センター ・市内指定医療機関	市内指定医療機関
受診券の 申込方法	<b>&lt;保健センターで受診する場合&gt;</b> 保健センターへ申込期間内に電話か窓口で申し込み(24ページを参照) <b>&lt;市内指定医療機関で受診する場合&gt;</b> 11月30日(水)までに、保健センターへ電子申請、郵便、電話、FAX、窓口で申し込み <b>申込専用電話 ☎2959-1311 (9時～16時。土・日曜日、祝日を除く)</b>	

## 女性のがん検診 初回無料 キャンペーン

市の検診を初めて受ける方、5年以上検診を受けていない方は、無料でがん検診を受けることができます。

対象年齢 乳がん検診：今年度40～59歳  
子宮がん検診：今年度20～39歳

## ●土曜レディースがん検診

土曜日に、保健センターで乳がん・子宮頸がん検診を受けることができます。平日に時間の取れない方は、ぜひお申し込みください。

日時 ①10月15日(土) ②11月19日(土) 9時～13時

申込期間 ①8月16日(火)～9月20日(火) ②9月21日(水)～10月20日(木)

申込方法 電話で保健センターへ

申込専用電話☎2959-1311 (9時～16時。土・日曜日、祝日を除く)

問合せ 保健センターへ☎2959-5811

※一部、撮影のためマスクを外しています